

様式（第3条関係）

東京都北区とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

所在地	北区赤羽2-57-9
園名	ぼけっとランド赤羽保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

広い園庭を囲むように植えられたどんぐりの木など、季節の自然物を子どもたちが身近に感じる環境がある。また、床材に無垢材を使用しており、体で木のぬくもりを感じられる。日頃から図鑑で木の実や葉を調べたり、保育者に質問したりするなど、探究活動に積極的な子どもの姿があることから、「自然」をテーマとして設定した。

2. 活動スケジュール

【令和7年4月～令和8年3月】

- ・4～5月：春の自然物（草花・虫）の観察、探究コーナー開設
- ・6～8月：夏の自然物（葉・昆虫・土）の探究、標本づくり
- ・9～11月：秋の自然物（どんぐり・落ち葉）の探究、図鑑との照合
- ・12～3月：冬の自然（霜・氷・枯れ木）の観察、一年間の振り返り・発表

3. 活動のために準備した素材、道具及び環境の設定

【環境設定】4・5歳児保育室に探究活動コーナーを常設。電子黒板・カメラ（拡大観察用）を設置。

【素材・道具】園庭で拾った葉・どんぐり・石・枝・虫（標本含む）、図鑑（植物・昆虫・鳥類等）、ルーペ、トレー、標本ケース、スケッチ帳・クレヨン

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

4・5 歳児（縦割り）の探究活動コーナーにおいて、子どもが戸外で見つけた自然物（葉・どんぐり・虫など）を電子黒板に拡大投影し、友だちと観察・議論しながら探究した。子どもが見つけた自然物は標本にし、継続して観察できる環境を整えた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

「この葉っぱは何の木？」という一つの気づきが、「この木はどこにある？」「この木が好きな虫は？」
「虫の生態について」と連鎖的に探究が広がった。

また、「どうやったら植物は育つの？」という言葉から、「育ててみよう」「苗を買いに行こう」「植えて、植物に必要な物をそろえて・・・」と連鎖的に探究さらに広がっていった。

5. 振り返り

<振り返りによって得た職員の気づき>

- ・一つの「気づき」が連鎖的な問いへと発展し、子どもの探究が主体的に深まることを職員全員が実感した。保育者の役割は「教える」ではなく「問いを広げる」ことだという意識が高まった。
- ・縦割り保育での活動により、5 歳児が 4 歳児に説明する場面が多く生まれ、学びの深化と異年齢の関わりが促進された。
- ・ドキュメンテーションにより保護者が子どもの探究の様子を知り、家庭でも自然への興味関心が広がったという声が多く届いた。次年度も継続して取り組む。